

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
異文化間コミュニケーション II Intercultural Communication II		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(特になし)	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
異文化間コミュニケーション I				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
ジョン・デイリー	みかも館 1F	授業中に指示します		授業中に指示します
授業の概要				
この授業は、世界中の国々の習慣と価値観等を紹介する。他国者の価値観等を理解できると、誤解を避けることができるし、その国の人々ともっとうまくコミュニケーションできるでしょう。そして、自分の国の長所と短所にも気がつくことができる。				
授業の目標				
①日本と他国の習慣等について比較して、対比することができるようにする。 ②教材のCDを聞いて、様々ななまりを理解することができるようにする。				
授業の方法				
各回のトピックに関連する単語を勉強する。そして、CDを使用して、色々な国の人々はそのトピックについての意見や体験を聞く。彼らの話は例として、学生と教員が日本の状況について話し合う。				
学習の成果（学習成果）				
①他国者の習慣等を理解でき、21世紀の国際人として視野を広げることができる。 ②他国と日本のことを比べて、自分の文化のメリット等について考慮することができる。 ③英語は母語ではない外国人のなまりになじむことができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	Introduction to the course Family Life			
第2回目	Dating			
第3回目	Personal Space			
第4回目	Gestures and Customs			
第5回目	Food and Drink			
第6回目	Gift-giving			

第7回目	Complaining	
第8回目	Shopping	
第9回目	Special Occasions	
第10回目	Work Customs	
第11回目	Cultural Identity and Values	
第12回目	Men and Women	
第13回目	School	
第14回目	Time	
第15回目	Review of the Course	
事前・事後学習	毎回復習すること。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	トピックの要点を理解し、グループディスカッション等に積極的に参加する。
レポート	40%	宿題として、トピックについて感想文等を書いて、次回に発表することができる。
調査報告書		
小テスト	30%	トピックについての質問に考え深いことを書くことができる。
試験		
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
People Like Us		
履修上の留意点・ルール		
特になし		